

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成27年9月28日

計画の名称	9 酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出する社会資本整備		
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）	交付対象	酒田市
計画の目標			

狭隘な市道の整備や修繕を行うことにより、有効幅員の拡幅や安全性を高め、特に冬期間の中心市街地へのアクセス改善や年間を通して観光施設等の賑わいを創出する。
 老朽化する道路施設について予防保全による計画的な修繕を行うことにより、道路交通安全・安心を確保する。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路台帳の実延長調書より総市道延長に対する有効幅員5m以上の延長で割合を算出し、75.7% (H21)から76.7% (H25)に増。 ・市の観光施設入込数について年間290万人を目標とする。 ・橋梁長寿命化修繕計画における橋梁のうち修繕実施済み橋梁の割合を算出し、4.0% (H24末)から16.0% (H25末)に増。 		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)							
① 車道部幅員が5m以上確保されることで、冬期でも円滑で安全な走行が可能な道路延長比率。 (冬道安全道路整備率) = (有効幅員5m以上の延長) ÷ (総市道延長)	75.7%	76.3%	76.7%							
② 市の観光施設入込数 過去5年間の推移よりH16年度をピークに年々下降状況にあることからH20年度の290万人を下回らないように維持することを目標とする。	290万人/年	290万人/年	290万人/年							
③ 橋梁長寿命化修繕計画策定橋梁の修繕工事を進めることで、道路交通安全性が確保される橋梁比率。 (修繕実施済み橋梁割合) = (修繕実施済み橋梁数) ÷ (橋梁長寿命化修繕計画策定橋梁数のうち優先的に修繕する橋梁数[50橋])	(H24末) 4.0%		(H25末) 16.0%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,143百万円	A	2,081百万円	B	45百万円	C	17百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.8%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
担当課で、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果を踏まえて今後の整備方針を検討するとともに、その要因を分析した。	平成27年度（整備計画期間の事業費完了期間の翌年度）	公表の方法
		市のホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															全体事業費 (百万円)	備考			
A1 道路事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)		市町村名	事業実施期間（年度）						
													H21	H22	H23	H24	H25		
9-A-1	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	改築	(1) 矢流川大平線	生石	改築	L=360m	酒田市						139	
9-A-2	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	改築	(1) 四ツ興野大宮線	大町	改築	L=530m	酒田市						190	
9-A-3	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	公安	(1) 外山越線	総光寺沢	視距改良	L=2.7km	酒田市						44	
9-A-4	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	修繕	(他) 本楯大豊田線外	本楯外	路肩改良	L=35.0km	酒田市						1,141	
9-A-5	街路	一般	酒田市	間接	—	市町村道	修繕	(他) 横代円能寺線外	刈屋外	橋梁塗装	N=4橋	酒田市						50	
9-A-7	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	公安	(他) 新橋東西線外	豊里外	案内標識	N=5基	酒田市						19	
9-A-8	道路	雪寒	酒田市	直接	—	市町村道	雪寒	(1) 四ツ興野熊手島線	勝保関	防雪柵	L=0.1km	酒田市						17	
9-A-10	道路	雪寒	酒田市	直接	—	市町村道	除雪(機械)	(1) 竹田上北目線外	地見興屋	除雪機	N=1台	酒田市						24	
9-A-11	道路	雪寒	酒田市	直接	—	市町村道	除雪	(1) 牧曾根庭田線外160路線		除雪	L=183.4km	酒田市						127	
9-A-12	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	改築	(他) 光ヶ丘一丁目1号線外	光ヶ丘外	改築	L=165m	酒田市						18	
9-A-13	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	改築	(1) 光ヶ丘線	光ヶ丘	改築	L=190m	酒田市						36	
9-A-14	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	改築	(1) 矢流川大平線	生石外	改築	L=470m	酒田市						22	
9-A-15	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	改築	(他) 大野新田1号線外	大野新田	改築	L=740m	酒田市						62	
9-A-16	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	改築	(2) 末広下通線外	広野	改築	L=460m	酒田市						137	
9-A-17	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	公安	(2) 熊野田線	熊野田	歩道整備	L=400m	酒田市						16	
9-A-19	道路	雪寒	酒田市	直接	—	市町村道	除雪(機械)	(1) 十里塚坂野辺線外	十里塚外	歩道除雪機	N=1台	酒田市						7	
9-A-20	道路	一般	酒田市	直接	—	市町村道	改築	(1) 錦町坂野辺新田線	錦町外	改築	L=412km	酒田市						32	
										小計（道路事業）					2,081				

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H21	H22	H23	H24	H25		
9-B-1	公園	一般	酒田市	—	—	改良	光ヶ丘公園	光ヶ丘 駐車場整備 A=2,300㎡	酒田市						19	
9-B-2	公園	一般	酒田市	—	—	改良	光ヶ丘公園	光ヶ丘 園内通路整備 L=190m	酒田市						26	
合計														45		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
9-B-1	光ヶ丘線(9-A13)の整備に併せ、隣接する光ヶ丘公園の駐車場及び進入路の整備を行い公園利用の促進を図る。															
9-B-2	高校生の通学路となっている光ヶ丘公園内の園路を整備し、交通安全の確保を図る。															
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H21	H22	H23	H24	H25		
9-C-1	計画・調査	一般	酒田市	直接	—	計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	計画策定、橋梁点検 N=504橋	酒田市						17	
合計														17		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 車道幅員が5m以上確保されることで、冬期でも円滑で安全な走行確保された。
- ・ 矢流川大平線、光ヶ丘一丁目1号線、光ヶ丘線、大野新田1号線、末広下通線外の現道拡幅、四ツ興野大宮線の新設、外山越線の視距改良、案内標識の設置等を行った結果、交通の流れもスムーズとなり、住民や観光客の通行性が向上した。
- ・ 橋梁の修繕工事を進めることで、道路交通の安全性が確保された。

II 定量的指標の達成状況

指標①冬道安全 道路整備率	最終目標値	76.7%	目標値と実績値 に差が出た要因	東日本大震災などによって資材単価や人件費が上昇したことに伴い整備目標を下回った。	
	最終実績値	76.5%			
	指標②市の観光 施設入込数	最終目標値	290万人/年		目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	288万人/年		
	指標③修繕実施 済み橋梁比率	最終目標値	16.0%		目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	16.0%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項 (今後の方針等)

引き続き同社会資本整備による事業を行い、酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出に取り組むこととしている。

(参考様式3)

(参考図面) 活力創出基盤整備

